

少子化に対応した魅力ある学校づくり

少子化に対応した魅力ある学校づくり

(1) 地域と協働した学校づくり

令和6年度より 市内すべての学校がコミュニティスクールになりました。

【コミュニティスクール】とは

- ・保護者や地域住民等が学校運営に参画する
- ・育てたい子供像や目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組みのある学校



地域 学校
連携・協働

少子化に対応した魅力ある学校づくり

(2) 魅力あるカリキュラムの導入等

義務教育学校への移行や地域との連携、
学校間連携

【あずま小中学校の例】

- ・ 先進的な英語教育 英語塾等との連携
- ・ プログラミング教育
- ・ 9年間を見通したカリキュラム編制
- ・ 地域の自然・文化・産業資源等を生かした特色あるカリキュラム編制
- ・ 富弘美術館など地域とのつながりを生かした校外学習・体験活動
- ・ ICT機器(電子黒板やタブレット端末)を用いた遠隔合同授業や他校との交流



少子化に対応した魅力ある学校づくり

(3) ICTを活用した教育や学校間連携等

ICTの活用により・・・

- ・ 児童生徒の主体的な学びが実現（個別最適な学び、協働的な学び）
- ・ 視覚化によるわかりやすい授業
- ・ 教職員の業務効率化や負担軽減
- ・ ICT機器（電子黒板やタブレット端末）を用いた遠隔合同授業や学校間交流（小・小、中・中、小・中）、不登校支援、地域人材を効果的に活用したオンライン授業 など



少子化に対応した魅力ある学校づくり

(4) 部活動の段階的な地域展開

国の方針を受けて段階的な地域展開を目指す

現在までのみどり市の取組み

- ・部活動指導員の配置
- ・合同部活動



「部活動の在り方検討委員会」による検討→段階的な地域展開

- ・部活動が学校主体の活動から地域に根ざした活動へ
- ・休日（土日、祝日）の部活動 できるところから徐々に

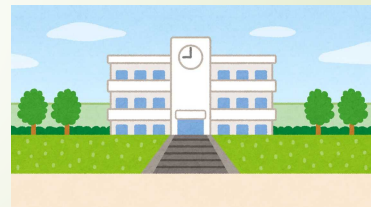
少子化に対応した魅力ある学校づくり

(5) 施設整備面での充実

①学校施設の複合化

児童生徒の教育環境を充実させるため、学校施設の大規模改修や建替などを行う際に学校施設の複合化を検討する。

- ・コミュニティスペースを設ける
- ・社会教育施設との複合化
- ・福祉施設との複合化 など



学習に集中できる環境を整備するとともに、市としての魅力向上により移住・定住にもつながるように努める。

少子化に対応した魅力ある学校づくり

(5) 施設整備面での充実

②学校給食施設の整備と食育



将来を見据えた安全でおいしく、継続的な学校給食の提供

- ・ 自校方式（各学校の給食調理室で調理）の学校の給食調理場の施設老朽化や現在の衛生基準を確保した施設整備、アレルギー対応などが課題
- 自校方式の優れた部分を可能な限り取り入れながら、アレルギー対応室を完備したセンター方式としていくことが望ましい。
- ・ 食育、災害発生時の対応等を含め、継続的な施設整備に努めていく。

少子化に対応した魅力ある学校づくり

(5) 施設整備面での充実

③学校水泳指導の民間委託の検討



学校プール、水泳授業に関する課題

- ・ プール施設の老朽化
- ・ 維持管理費と教職員の負担
- ・ 近年の猛暑や豪雨で水泳授業が実施できない日も多くなっている
- **学校水泳指導を民間のスイミングスクールに委託**（R7試行的実施）
 - ・ 水泳指導の時数確保
 - ・ 専門的な指導や安全確保
 - ・ 教職員の負担軽減